

上越ソフトバレーボール連盟「20年記念」

上越バレーボール協会
会 長 中村 晶夫



この度は、上越ソフトバレーボール連盟設立20年を迎えられ、誠におめでとうございます。

貴連盟は、2003年7月に中山宏会長・宮崎明理事長の下、地域で活動するソフトバレーボールチームで結成されました。また、発足と同時に当協会の傘下5連盟の一組織として、当協会の活動にも参画されましたことに、感謝申し上げます。その後、構成チーム数も増えながら、年齢層も幅広くなって、新潟県連盟内でも大きな組織として発展されています。

更に、傘下のチーム活動だけにとどまらず、県連盟主催大会を開催するなど、競技運営にも尽力されました。設立間もない2006年には平成18年度ソフトバレーボール北信越フェスティバルの開催をはじめ、各県大会の運営に当たられたことは敬服の至りであります。

2015年第4回全国ソフトバレー・スポレクフェスティバル開催は、北陸新幹線開業と相まって、大盛況のうちに無事終了されました。大会成功と共に更に普及活動が浸透したことは、全国連盟から高い評価と称賛を頂きました。

そして、コロナ禍にあって万全の準備をされての2022年度ソフトバレー北信越フェスティバルが、無事終了されたことは、更に組織力が醸成されたものと思います。

私は、1988年（昭和63年）の日本体育協会スポーツ指導員資格取得講習会で、初めてソフトバレーボールを体験いたしました。この35年前は6人制バレーボールジュニアレッスンコースへの導入も一つの目的でありましたが、現在はシニア・シルバー世代に定着し、超高齢化社会には打って付けのスポーツとしてソフトバレーボールが更に拡がりを見せることでありましょう。

終わりに、これからもソフトバレーボールが地域に根差しながら更なる繁栄を遂げ、貴連盟が益々発展されることをご祈念申し上げます。